



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月10日

上場会社名 大東港運株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9367 URL <https://www.daito-koun.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾根 好貞
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 荻野 哲司 (TEL) 03-5476-9701
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	12,880	4.3	648	10.0	775	6.8	525	8.2
2024年3月期第3四半期	12,345	△6.2	589	△34.4	726	△30.5	485	△30.9

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 417百万円(△27.7%) 2024年3月期第3四半期 578百万円(△27.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	60.94	—
2024年3月期第3四半期	56.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	15,281	9,396	60.3
2024年3月期	14,736	9,165	61.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 9,221百万円 2024年3月期 9,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	10.00	—	11.00	21.00
2025年3月期	—	12.00	—		
2025年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	5.9	750	16.9	850	6.8	580	8.5	67.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	9,389,000株	2024年3月期	9,389,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	760,684株	2024年3月期	775,806株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	8,622,267株	2024年3月期3Q	8,606,275株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2025年2月10日に、四半期決算説明資料「第76期(2025年3月期)第3四半期決算説明資料」を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に弱めの動きも見られますが、緩やかに回復する状況となりました。輸出や鉱工業生産は横ばい圏内の動きとなっておりますが、企業収益は改善傾向にあり設備投資は増加しました。また雇用・所得環境は緩やかに改善し、物価上昇の影響が見られるものの個人消費も緩やかな増加基調を辿りました。

海外経済についても総じて緩やかな成長が継続しました。米国経済は、政策運営を巡る不確実性は意識されているものの堅調に推移しました。欧州経済は、一部に弱さを残しつつも下げ止まりを見せています。一方で中国経済は、不動産市場や労働市場の調整要因により改善ペースは鈍化傾向が見られました。ロシア・ウクライナ問題の長期化、中東を巡る情勢悪化の要因もありましたが、米国経済が世界経済を牽引する形で海外経済は緩やかに成長しました。

斯かる環境下、物流業界におきましては、輸入は電算機類（含周辺機器）を中心に米国・欧州はおおむね横ばい、中国・アジアは持ち直しの動きが見られました。輸出は半導体関連を中心に中国・アジア・米国・欧州ともに横ばいで推移しました。

その中で、食品の輸入が大きな部分を占める当社取扱いは、畜・水・農産物共に増加となりましたが、化学品等の一般貨物については減少となりました。また鋼材の国内物流取扱も増加となりました。

このような状況の中、当社グループは「『ありがとう』にありがとう」のコーポレートフィロソフィーの下で、第8次中期経営計画「Be Sustainable」～サステナブルを目指して～2年目を迎え、その各施策一つひとつに取り組むとともに計画達成に向け、受注活動を堅実に展開してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における営業収益は、前年同期間比4.3%増の12,880,158千円となりました。また経常利益は、前年同期間比6.8%増の775,510千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期間比8.2%増の525,457千円となりました。

セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

[輸出入貨物取扱事業]

輸出入貨物取扱事業は、営業収益は前年同期間比3.4%増の9,592,827千円となり、セグメント利益は前年同期間比5.4%増の1,307,339千円となりました。

[鉄鋼物流事業]

鉄鋼物流事業は、鉄鋼製品の取扱増加により営業収益は前年同期間比5.2%増の1,528,637千円となり、セグメント利益は前年同期間比14.7%増の126,668千円となりました。

[その他事業]

その他事業は、連結子会社増収により、営業収益は前年同期間比9.1%増の1,758,692千円となりましたが、一部連結子会社のコスト増加により、セグメント利益は前年同期間比58.6%減の11,910千円となりました。

セグメント別営業収益

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 自 2023年4月1日 至 2023年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自 2024年4月1日 至 2024年12月31日		増減	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減比 (%)
輸出入貨物取扱事業	9,280,540	75.2	9,592,827	74.5	312,287	3.4
鉄鋼物流事業	1,452,407	11.8	1,528,637	11.9	76,229	5.2
その他事業	1,612,539	13.0	1,758,692	13.6	146,153	9.1
合計	12,345,487	100.0	12,880,158	100.0	534,671	4.3

輸出入貨物取扱事業における取扱品目別売上高

取扱品目	前第3四半期連結累計期間 自 2023年4月1日 至 2023年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自 2024年4月1日 至 2024年12月31日		増減	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減比 (%)
畜産物	3,733,318	40.2	3,849,432	40.1	116,114	3.1
水産物	1,671,572	18.0	2,031,955	21.2	360,383	21.6
農産物	1,199,348	12.9	1,226,062	12.8	26,713	2.2
その他	2,676,301	28.9	2,485,376	25.9	△190,924	△7.1
合計	9,280,540	100.0	9,592,827	100.0	312,287	3.4

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は15,281,838千円となり、前連結会計年度に比較し544,877千円増加いたしました。これは主に、受取手形及び営業未収入金が100,407千円、関税等立替金が365,293千円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は5,884,954千円となり、前連結会計年度に比較し313,489千円増加いたしました。これは主に、賞与引当金が133,519千円減少した一方、営業未払金が171,072千円、短期および長期借入金が321,585千円それぞれ増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は9,396,883千円となり、前連結会計年度に比較し231,387千円増加いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金が63,156千円減少した一方、利益剰余金が327,172千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、通期の連結業績予想につきましては、2024年5月14日に公表した数値に変更はございません。

今後の動向により業績予想の変更が必要な場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,844,587	3,923,933
受取手形及び営業未収入金	2,376,713	2,477,121
棚卸資産	350,381	374,679
関税等立替金	1,423,942	1,789,236
前払費用	278,276	336,740
その他	143,565	133,316
貸倒引当金	△2,634	△1,262
流動資産合計	8,414,832	9,033,763
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	471,646	429,810
機械装置及び運搬具（純額）	119,227	135,830
土地	2,313,789	2,313,789
リース資産（純額）	188,121	139,392
建設仮勘定	—	48,100
その他（純額）	29,697	41,335
有形固定資産合計	3,122,483	3,108,258
無形固定資産	174,966	151,863
投資その他の資産		
投資有価証券	1,664,001	1,578,175
破産更生債権等	3,225	7,852
繰延税金資産	115,791	77,238
その他	1,244,895	1,331,911
貸倒引当金	△3,235	△7,225
投資その他の資産合計	3,024,678	2,987,952
固定資産合計	6,322,128	6,248,074
資産合計	14,736,960	15,281,838

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	1,468,286	1,639,359
短期借入金	783,230	675,480
未払法人税等	76,599	65,600
賞与引当金	306,486	172,967
その他	623,437	642,349
流動負債合計	3,258,039	3,195,756
固定負債		
長期借入金	1,355,565	1,784,900
再評価に係る繰延税金負債	161,263	161,263
退職給付に係る負債	420,973	417,607
長期末払金	69,040	69,040
その他	306,583	256,387
固定負債合計	2,313,425	2,689,198
負債合計	5,571,465	5,884,954
純資産の部		
株主資本		
資本金	856,050	856,050
資本剰余金	616,957	621,875
利益剰余金	6,943,218	7,270,390
自己株式	△359,793	△352,780
株主資本合計	8,056,432	8,395,535
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	390,092	326,935
土地再評価差額金	56,288	56,288
為替換算調整勘定	101,828	74,292
退職給付に係る調整累計額	405,839	368,738
その他の包括利益累計額合計	954,048	826,254
非支配株主持分	155,015	175,093
純資産合計	9,165,495	9,396,883
負債純資産合計	14,736,960	15,281,838

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
営業収益	12,345,487	12,880,158
営業原価	8,814,270	9,284,088
営業総利益	3,531,216	3,596,069
販売費及び一般管理費	2,941,641	2,947,497
営業利益	589,575	648,571
営業外収益		
受取利息	2,649	2,285
受取配当金	39,415	40,640
持分法による投資利益	33,580	39,185
有価証券償還益	1,671	—
受取保険金	58,776	40,955
その他	16,594	19,935
営業外収益合計	152,687	143,002
営業外費用		
支払利息	12,412	10,848
複合金融商品評価損	—	3,820
その他	3,789	1,394
営業外費用合計	16,202	16,063
経常利益	726,060	775,510
特別利益		
投資有価証券売却益	18,157	5,399
資産除去債務戻入益	—	15,208
補助金収入	40,000	—
特別利益合計	58,157	20,607
特別損失		
減損損失	65,377	—
特別損失合計	65,377	—
税金等調整前四半期純利益	718,839	796,118
法人税、住民税及び事業税	167,702	175,883
法人税等調整額	75,435	77,869
法人税等合計	243,138	253,753
四半期純利益	475,700	542,364
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,874	16,907
親会社株主に帰属する四半期純利益	485,575	525,457

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	475,700	542,364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85,818	△63,156
為替換算調整勘定	44,971	△24,365
退職給付に係る調整額	△28,330	△37,101
その他の包括利益合計	102,459	△124,623
四半期包括利益	578,159	417,741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	578,325	397,663
非支配株主に係る四半期包括利益	△165	20,078

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	241,873千円	207,212千円
のれんの償却額	8,496千円	8,496千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸出入貨物 取扱事業	鉄鋼物流事業	その他事業	合 計		
営業収益						
(1) 外部顧客に 対する営業収益	9,280,540	1,452,407	1,612,539	12,345,487	—	12,345,487
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	3,322	—	82,229	85,552	△85,552	—
計	9,283,863	1,452,407	1,694,768	12,431,039	△85,552	12,345,487
セグメント利益	1,240,222	110,459	28,768	1,379,450	△789,875	589,575

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用789,875千円であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他事業」セグメントにおいて、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった連結子会社における事業用資産の帳簿価額を、回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては65,377千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸出入貨物 取扱事業	鉄鋼物流事業	その他事業	合 計		
営業収益						
(1) 外部顧客に 対する営業収益	9,592,827	1,528,637	1,758,692	12,880,158	—	12,880,158
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	1,791	—	118,409	120,201	△120,201	—
計	9,594,618	1,528,637	1,877,102	1,300,359	△120,201	12,880,158
セグメント利益	1,307,339	126,668	11,910	1,445,918	△797,346	648,571

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用797,346千円であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社連結子会社であるEver Glory Logistics Pte. Ltd. (所在地: Singapore) は、2024年11月28日に借地権付倉庫物件を取得しました。

(1) 取得の目的

ビジネス拡大を図るため、新たに倉庫物件を取得するもの。

(2) 設備投資の概要

① 所在地29 Tuas Avenue 11, Singapore

② 敷地面積11,511m²

③ 取得額11,529千シンガポールドル (不動産取得税含む)

(3) 当該物件取得による2025年3月期の連結業績に与える影響は軽微であります。